

おがまち日奈久ニュース

来年4月から公民館がコミュニティセンターへ

8月22日 住民説明会に22名が参加

市は来年4月から日奈久公民館（南部市民センター）をコミュニティセンターと名称を変え、また教育委員会から市長部局に移管し、住民自治会が管理運営をする計画を発表しました。これにより自治会による地域づくり活動を充実させることとしています。

例えば、自治会による収益事業（入場料、業者等を含む施設使用料、カフェのような飲食の提供や販売など）、飲食しながらの会議の開催など、これまでの利用制限の緩和を図ることとしています。また、これまでの施設の利用や講座、使用料は引き継がれる見通しです。

市職員（日奈久では出張所長）が地域アドバイザーとして常駐し、公民館主事は複数地域の社会教育を担当します。

さらに、施設を管理運営する人を自治会が雇用することになります。

全国大会を兼ねて開催 おもてなしのチャンスに

第16回「九月は日奈久で山頭火」

今年で16回目を迎える「九月は日奈久で山頭火」は、全国山頭火フォーラムを同時開催して一ヶ月間にわたるイベントを展開、全国各地から多くの山頭火ファンが集まります。

（主催）九月は日奈久で山頭火実行委員会

期間中を通して実施される主なものは、織屋一般公開、山頭火資料パネル展示、小崎侃「山頭火の世界」木版画展、絵手紙作品展、まちなかギャラリー（句板展）など。

9月の土・日曜日には、さまざまなイベントが計画されています。6日（日）おひや旬会、19日（土）山頭火シンポジウム（全国山頭火フォーラム）、20日（日）山頭火バスツアー、

伝統を守ろう 日奈久だけの独特なやり方

日奈久十五夜綱ひき 9月2日（日）

今年も中秋の名月の下で、温泉センターばんべい湯前を中心として日奈久十五夜綱ひきが行われます。

19:00 神事
19:30 街中曳き回し
20:00すぎ 綱引き

参加町内は上西、下西、浜、中・東・中西、塩南で計5本の綱が競い合う予定です。

戦後70年「戦争は終わっていない」

白濱アケミさん 塩北町に聞きまわりました

今年4月、天皇・皇后両陛下のパラオ共和国慰霊訪問を遺族として現地でお迎えになった白濱アケミさんに、その時の様子などをお尋ねしました。

「皇后陛下は父の戦死の様子をお尋ねになり、励ましてくださいました。父は昭和18年9月30日に輸送船「前橋丸」でラバウル方面へ航海中、パラオ島南東海上にて戦死し

「ありがとう」が 行き交うまち 日奈久

身近な人に「ありがとう」 愛する日奈久に「ありがとう」 訪れる人に「ありがとう」

す（人件費は市予算）。管理運営者は受付や鍵の管理、情報提供、学校体育施設の貸出・管理業務、自治会事務の補助等を行います。会場からは、適した人材が確保できるかなど、熱心な質問と意見が出されました。

人口減少と高齢化が急速に進んでいます。若い人、特に女性の働く場を確保することが強く求められます。まちづくりのポイントには若い女性が魅力を感じる取り組みをすすめていきます。

日奈久校区 敬老会のご案内

敬老会は長い間、社会発展のために貢献してこられた高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする会です。

婦人会がご案内状をご自宅までお届けしますので、その時に出席の有無をお伝えください。なお、遠い方には送迎バスも用意しますので、ご利用の必要な方も、その時いっしょにお申し出ください。

敬老会では、楽しい催しも用意してお待ちしております。どうぞたくさんの方々にご出席いただき、ますようご案内申し上げます。

日奈久住民自治会
会長 平田啓爾
日奈久校区婦人会
会長 倉野静香

成27年9月1日
(第73号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(7月末現在)
男1324人
女1671人
計2995人
(21年末3444人)

日奈久の人口3千人を割る

人口減少と高齢化が急速に進んでいます。若い人、特に女性の働く場を確保することが強く求められます。まちづくりのポイントには若い女性が魅力を感じる取り組みをすすめていきます。

9月の行事から

- 4日(金) いきいきサロンの集い 10:00～ 日奈久ゆめ倉庫
 - 13日(日) 敬老会 10:00 日奈久中体育館
 - 27日(日) 山頭火ウォーク 十五夜綱ひき
- 住民自治会関係会議
(会場 南部市民センター)
- 15日(火) 運営委員会 15:00
 - 16日(水) 広報部会 19:00

故坂本繁様（塩北町）
妻フミ子様より故人の意思を尊重され、香典返しとして日奈久住民自治会に寄付をいただきました。
ここに厚くお礼を申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈り致します。

西湯は存続できるか

西湯の休館に伴う説明と意見聴取 市観光振興課

市観光振興課は8月6日に続いて17日の運営委員会でも西湯の件について説明と意見聴取をしました。

西湯は昭和48年に開設以来42年間、老朽化が進み故障、休業が相次いでいます。今回も4月末からポイラー内部の故障から休業が続いています。

（修繕費見積もりは650万円）
26年度の利用者は5年前と比べ12500人減少。赤字額も280万円に上っています。住民は存続を強く求めましたが、市は財政難から難色を示しています。打開策の提案など住民の強い意識が求められています。

住民自治会運営委から

8月17日の運営委員会の話題から記事に取り扱っていない主なものをお知らせします。

○福祉健康人権部会
敬老会の準備のため市政協力員の方は9月12日（土）は13:30、13日（日）は8:00に中学校体育館にご集合ください。

○スポーツ文化部会
校区民体育祭は10月11日（日）開催予定です。

○事務局
（1）自治会公印は出張所長保管の使用記録簿に記名の上、使用することになりました。
（2）自治会活動に伴う傷害保険加入を検討することになりました。
（3）旧若竹保育園の活用について町内連絡委員会で説明、意見聴取した内容を報告。コミュニティセンターの説明会後再検討します。

日奈久から有功者5名、特別表彰1団体が受賞

新市誕生10周年記念式典開催

8月1日八代市新市誕生10周年記念式典がハーモニーホールで開催され約500名の市民、関係者が出席して祝いました。

式典では、地域振興や文化振興などで功績のあった団体と個人の表彰がありました。有功者表彰（特別職の職員として16年以上在職した方、または市政の振興発展に貢献し、その功績が顕著な方など）48個人と2団体の表彰があり、日奈久関係では消防団の廣瀬徹也さんと丸塚豊氏さん、学校の福田幸さん、青少年指導員の後藤都紀夫さんと西村一夫さんが表彰を受けられました。また、10周年特別表彰では全国花火競技大会の提案から現在まで貢献されている日奈久の有限会社津山花火など9団体と8個人、市民栄誉賞はマスタース陸上競技世界記録の守田満さんと演歌歌手の八代亜紀さんが表彰されました。

地域要望85件を市に提出

日奈久住民自治会

少子高齢化のため、引き手が少なくなると、存続を危ぶむ声も聞かれます。しかし後世のためにも、時勢に合った十五夜綱ひきのあり方を考え、このすばらしい伝統を守り続けたいものです。

住民自治会（町内連絡委員会）は平成27年度分の地域要望書を取りまとめ、このほど市に提出しました。それによれば、町内関係では①日奈久温泉本湯前駅の施設、②ゆめ倉庫人道橋から親水公園にかけての街灯新設、③南部市民センター洋式トイレへの改修など51件、農業関係では①新開町塘添下の道路舗装、②新開町塘添上の道路拡張・排水路改良③新開町間矢の内の道路・排水路改良など34件があり、その多くがこれまでも継続されてきた要望事項です。中には10年以上も継続している事項があります。

訂正

先月号の宮崎正郎様の記事において写真説明の氏名及び年齢を訂正してお詫言します。

(広告欄)

新田町が優勝

町内対抗野球大会

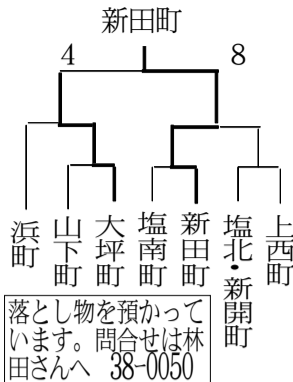
8月15日、恒例の益野球として親しまれてきた町内対抗野球大会があり、新田町が優勝、2位は大坪町でした。

参加したのは大坪、新田、山下、塩北・新開、塩南、浜、上西の各町内7チームで、お盆帰省の選手も加わり、大会は同窓会気分が盛り上がりしました。

うだるような気温と日照りで、熱中症が心配されましたが、選手や応援の皆さんはたらたら汗をかきながらも大変元気でした。体協関係者の皆さんご苦労様でした。



熱戦を競り勝ち優勝した新田町



日奈久を語る

小学生の頃の浜町(町裏)

浜町 本郷勇吉

満潮になり波頭で泳いでいると、小指位のエビがジャンジャン跳ねるのを見て取って食べていました。海の釣りでは、浜町の波頭の辺りが釣りの場でした。ウナギ、セゴ、チヌ、フク、サヨリなどが釣れました。山に行く、アケビ、野イチゴ、ヤマモミなどを取って食べていました。また、たきぎ(かまじ)や風呂の燃料にする小枝など、取りも同じ場所でした。

津森小学校遭難を悼み

津森小学校の先生たちが参拝

8月11日、益城町津森小学校の先生たち10名が平成町の遭難の碑と鳩山の地蔵尊に参拝されました。

津森小では、毎年6月に6年生が水俣・芦北の社会学習の際に遭難の碑を訪れているそうです。住民自治会では8月9日早朝から約40名で除草作業をしました。



遭難の碑の前で吉田貢さんの話に聴き入る津森小の先生たち

日奈久美術展 作品募集

絵画、水墨画、工芸、彫刻、デザイン、写真

日奈久美術愛好会(会長 本郷勇吉)では、日奈久の美術文化に寄与する目的で、今年も美術展を開催します。日奈久在住、日奈久出身、日奈久で働いている人で中学生以上なら誰でも出品出来ます。

- 出品点数 午前10時～12時まで 1人2点まで
- 出品料 500円
- 申込み 出品したい方は題名、氏名などをお尋ねしますので、9月23日(水)までに左記へご連絡ください。電話090-285220152 本郷方
- 会場 日奈久ゆめ倉庫
- 会期 10月11日(日)～18日(日)
- 作品搬入 10月10日(土)

津森小からお便りをいただきました。

8月11日の津森小学校の職員研修で、日奈久の遭難の碑に行きました。清掃と黙祷を行い、前馬越町区長の吉田貢様より当時の様子を伺いました。当時の悲惨な事故の様子、そして、日奈久の方々の一生懸命な救助の様子を知ることができました。二度とこのような事故を繰り返さないようにするために、安全に気を配ること、そして、命の大切さをしっかりと子どもたちや様々な人に伝えていきたいと考えました。

日奈久の皆さまが碑の周辺を定期的に清掃されており、大切にいただいていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。津森でも日奈久でもこの事故が風化しないようにしていくことが重要だと思いました。ありがとうございました。

津森小学校 職員一同

日奈久のまちおこし(集客)のために

景観をどう変えるかの重要なヒントに

県主催 地域景観コーディネーター実践講座開催される

8月20日、東京大学教授堀繁氏を招き、日奈久からも参加出来る講座がゆめ倉庫で開催されました。堀教授「良い景観(ながめ)は見たものが見やすいこと」「悪い景観は見たくないものが見えること」として日奈久のまちめぐりをしながら具体的に話されました。

いくつか紹介します。①道から見ると正面に一番見たい(見せたい)ものが一番大きく見えるか。②川は大切な景観。いこいの広場は川が生け垣や石碑、看板、塀で見えない。③見る範囲は上下角度が水平から20度ほどで建物の一階部分とその手前の路上を見る。その部分が「歓迎してくれている、自分にとって気持ちがいい、ようこそいらっしゃい」と



24時間TV募金小中学生が活躍 8月22・23日、マルショク前でボランティア団体とともに日奈久小・中学生が募金を呼びかけました。



日奈久の海岸にスラリと並んだ流れ舟(うたせ舟) (町田謙二さん提供)

頃にはまた海岸に舟は並びました。小魚の売れ残りは誰かが買って、レインカ倉庫で竹かごに広げて乾燥させていたと聞きました。

(おわり)

大切な人に送ろう

絵だより教室を開催

8月6日(木)八代絵だよりの会代表の岸部孝子さんの指導で、絵だより教室が開催されました。ゆめ倉庫主催。約30名の参加者は指導されたことを試したり、野菜や果物に集中して描いたりして、自分の作品に一喜一憂していました。



真剣な表情で描き進める参加者たち

おがまちのソムリエ

今年の夏は長雨による日照不足とその後日照りと水不足とで田畑は受難でした。店頭野菜類も値上がり、品薄と売れる方も買う方も困った夏を過ごしました。こんな極端な気候変化はCO2の排出による地球の温暖化によるものだとされています。外国から農作物の輸入を迫られる日本ですが、主食の米でさえ危うい現状です。そんな中、和食が世界遺産になりました。「すごい日本民族！」料亭の日本料理には手が届きませんが、昔、祖母や母が当たり前のようにならなうに作っていた手料理、それも和食に違いありません。この時季になるとサトイモやカライモの小辛を鍋いっぱい塩ゆでにしてドンドン用意してありました。交換した柿や栗も秋の味覚でした。ちょっと酸っぱいキャンベルや紅玉も大好きでした。今はもう見かけません。あるのは、手をかけた高価な甘い果物ばかり……。でも、秋の果実である紫のブドウにはすくえた抗酸化作用のあるポリフェノールが多く含まれ、健康効果があるといわれますので、二見のブドウなどがいいかもしれません。

野菜ソムリエ 中山文子さん

日奈久のおもしろ?歴史

本湯の移り変わり(その3)

●第5期 大正15年、昭和41年 大正末期、国鉄鹿児島本線が開通すると日奈久の客足が遠のいて温泉界の競争から落伍者となる運命にあった。大正14年、財産区と町議会は本湯の施設が時代遅れだとして斬新な設計のもとに改築に踏み切った。洋式を加えた2階建ての新設、階下は男女別の浴室、1階は家族湯を新設、2階は休憩場兼宴会場あるいは集会場。家族湯は常に満員で、時たまその筋の目の光るごきぎあつた。 (参考文献 中原文敬著「日奈久の歴史」)

●第6期 昭和42年、平成20年 世はレジャー時代となり、財産区は施設が時勢に取り残されるところとして一大決意のもと大がかりな融資を受けて温泉センターの建設を行った。鉄筋コンクリートの4階建てに地階とロビーを配し、冷暖房の設備をした。総工費7千万円、喫茶室やゲームコーナー、売店、大広間もあり、完成当時は連日押す押すの大盛況であった。 (参考文献 中原文敬著「日奈久の歴史」)

(広告欄)